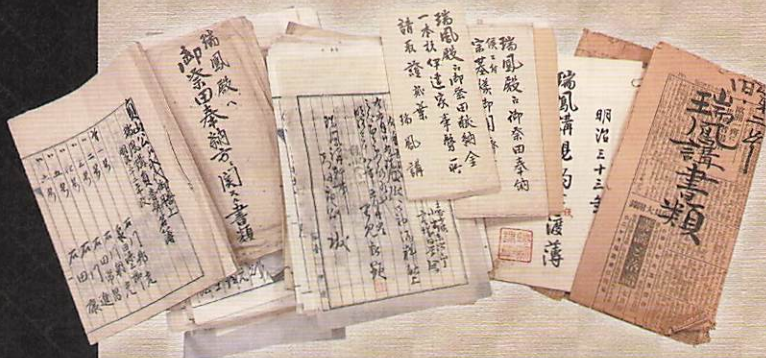


第70回企画展



# 平澤亀一郎 と大條家



大條家子孫が「残した資料群

2月27日(金) 令和8年

~5月10日(日)

## 山元町歴史民俗資料館

〒989-2203

宮城県亶理郡山元町浅生原字日向13-5 TEL/FAX 0223-37-0040

■開館時間 午前9:00~午後4:30(入館は午後4:00まで)  
■休館日 3/2・9・16・23・30、4/6・13・20・27、5/7  
■観覧料 一般:200円(150円) 高校生:100円(70円) 小中学生:50円(30円)  
※( )内は20名以上の団体料金

山元町歴史民俗資料館第70回企画展

ひらさわき いちろう おおえだけ

# 平澤亀一郎と大條家

## 大條家子孫が残した資料群

宮城県亘理郡山元町の南部、旧坂元村の範囲は、江戸時代に仙台藩伊達家の重臣「大條家」が治めた地域でした。大條家は、室町時代に伊達家から分かれた家系で、仙台藩の家格「一家」に属し、藩政のトップである「奉行職」を歴任した家柄です。幕末の動乱時には、大條家一七代孫三郎道徳が仙台藩の奉行職を務め、戊辰戦争の戦後処理を担当しました。

平澤亀一郎は、明治二三（一八九〇）年一二月二三日、大條家一七代孫三郎道徳の七男として誕生しました。幼少時代を坂元村で過ごし、中学三年生（仙台二中）の時に、仙台藩伊達家の家臣だった「平澤家」の養子となります。その後、大正五（一九一六）年に東北帝国大学農科大学実科を卒業後、大正七年（一九一八）に台湾総督府に就職。農務主任として蓬莱米の開発・普及に尽力したほか、台湾山岳会創立等の功績を残しました。

平澤家には、亀一郎の父である大條孫三郎道徳ゆかりの書画や古記録などが数多く残され、今日まで大切に守り伝えられてきました。令和八（二〇二六）年、これらの貴重な資料約八百点が山元町歴史民俗資料館に寄贈されたものです。

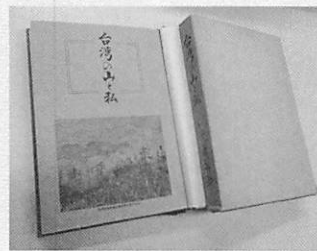
今回の展示では、大條家の末裔でもある平澤亀一郎の功績と、寄贈された大條家関係資料を紹介いたします。



平澤亀一郎 [1890-1986]



「瑞鳳講規約」



平澤亀一郎著『台湾の山と私』



大條孫三郎道徳（伊達翠雨）の書画



歌川国芳「名高百勇傳 源頼光」

### アクセス



- 自動車の場合 常磐自動車道 山元IC より5分程度
- 電車の場合 JR常磐線山下駅から徒歩15～20分程度  
JR常磐線山下駅から町民バスまたはタクシーで5分程度